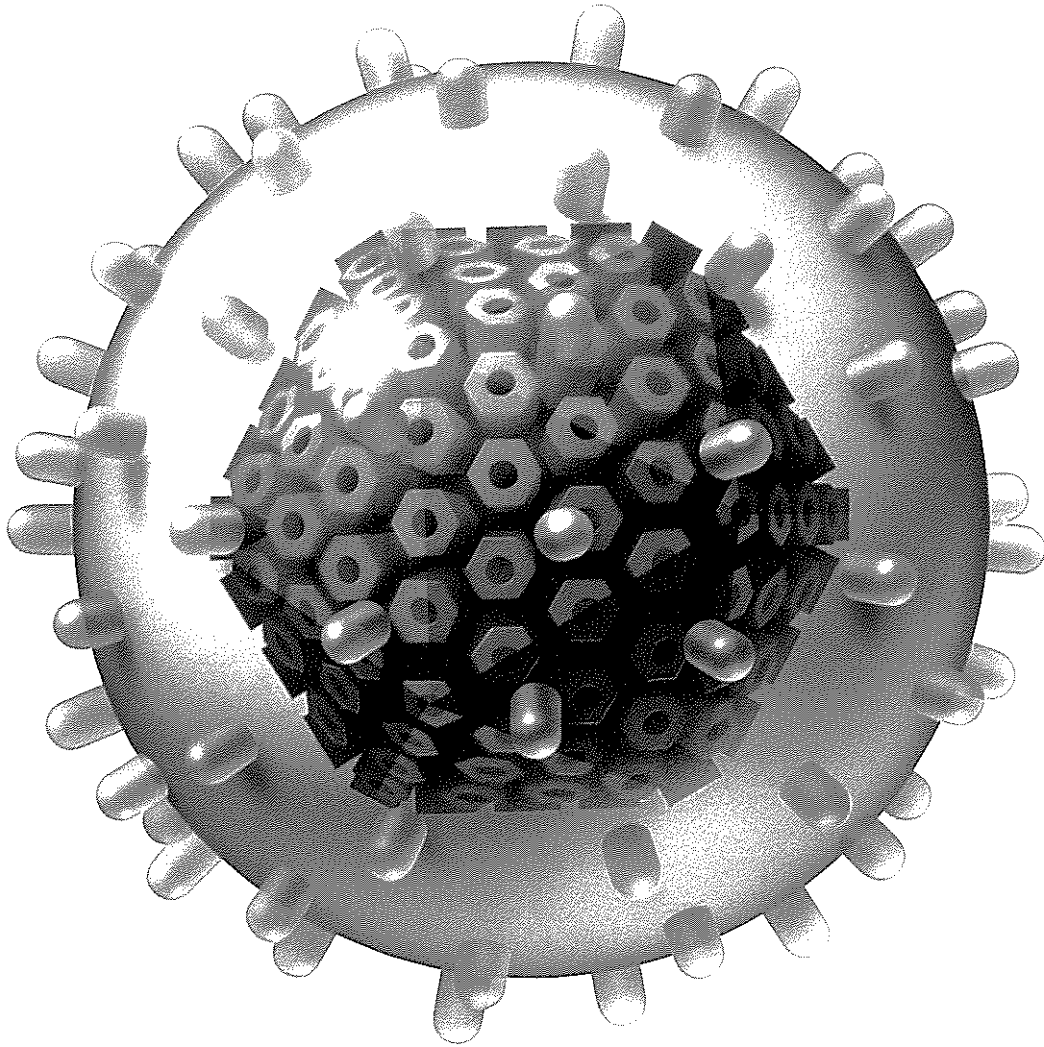


# 2010 JHIF海外留学助成制度



## ヘルペスウイルス感染症研究助成

### 第15回 募集

#### 募集要項

**JHIF** Japan  
Herpesvirus  
Infections  
Research  
Foundation  
**SCHOLARSHIP  
AWARDS**  
IN HERPESVIRUS INFECTIONS RESEARCH



## 目 的

近年、我が国においては生活環境やライフスタイルの変化などにより、ウイルス性疾患の中でもヘルペスウイルス感染症の罹患率は年々増加している。このような状況を背景にヘルペスウイルスの基礎およびその感染症の臨床研究が多くの医療機関で実施されており、今後もこれらの研究が継続されることは重要不可欠である。この主旨にそって、「ヘルペス感染症研究会」では、「ヘルペス感染症フォーラム」(JHIF)の開催活動に加え、当分野における研究発展に寄与するためにJHIF海外留学助成制度(JHIF SCHOLARSHIP AWARDS IN HERPESVIRUS INFECTIONS RESEARCH)を1996年4月に設立した。この制度は、海外の大学あるいは研究施設に留学し、当領域の研究を行う研究者に対して奨学助成することを目的とする。

### ●対象研究者

ヘルペスウイルスに関する基礎研究者、あるいはヘルペスウイルス感染症の予防、診断、治療に関する臨床研究者。

### ●募集人数

2名程度

### ●留学助成期間

2年

### ●助成金額

3,500,000円(1名/1年間)

※目的地までの最短距離での渡航先往復旅費を別途助成

# 応募資格

## ●応募資格

下記の条件を満たすこと。

- ① 一定の研究業績を有する有能な研究者であること
- ② 日本に定住する研究者であること
- ③ 2010年7月1日現在、年齢が満40歳未満であること
- ④ 原則として、海外において2年以上の研究留学が可能であること
- ⑤ 原則として、初めて海外留学する研究者であること
- ⑥ 選考時点で留学していないこと
- ⑦ 所属施設の責任者の承諾を得ること\*
- ⑧ 所属する部門あるいは教室の責任者の推薦を必要とすること
- ⑨ 留学先施設の承諾を得ていること
- ⑩ 留学のための他の奨学金を重複して受けていないこと
- ⑪ 留学先において研究活動が充分行える語学力を有すること
- ⑫ 他の留学助成制度に応募している場合、JHIF海外留学助成制度の受賞者に選ばれた時は、優先してJHIF留学助成制度を利用する意志があること

\*所属施設の責任者：総合大学の学部においては学部長、研究所においては研究所長、単科大学においては学長とし、その他の研究施設においては施設長とする。

# 応募方法

## ●応募方法

規定の用紙に必要事項を記入し、下記の書類を添付の上、指定期日までに「ヘルペス感染症研究会」JHIF SCHOLARSHIP 事務局に提出のこと。

### 提出書類

#### 1. 応募用紙(規定用紙を使用)

- 〈A〉 自己紹介・略歴書
- 〈B〉 推薦書(部門又は教室の責任者)、留学承諾書(所属施設の責任者)
- 〈C〉 業績目録(最近5年間)
- 〈D〉 業績内容(2,000字以内)
- 〈E〉 留学施設及び留学を希望する理由
- 〈F〉 留学先での研究テーマと概要(1,000字以内)

#### 2. 留学先施設の受入承諾を証明するもの(書式を問わず)

上記1、2の提出書類を3部作成の上(コピー可)提出のこと。

※お預かりした書類は、個人情報保護法に則り、本助成制度以外の目的には、使用いたしません。

### 書類提出・問い合わせ先

#### 「ヘルペス感染症研究会」JHIF SCHOLARSHIP 事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座1-3-1 富士屋ビル6F 臨床医薬研究協会内  
TEL.03-3538-8231/FAX.03-3538-8234

## ●第15回応募締切

2010年7月末日

# 選考方法と発表

## ●選考方法

「ヘルペス感染症研究会」(JHIF)の選考委員会にて選考。

### 選考委員

浅野 喜造	藤田保健衛生大学医学部 小児科学教室 教授
糸山 泰人	東北大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授
小野寺 昭一	東京慈恵会医科大学 感染制御部 教授
川島 眞	東京女子医科大学 皮膚科学教室 教授
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 教授
佐多 徹太郎	国立感染症研究所 感染病理部 部長
下村 嘉一	近畿大学医学部 眼科学教室 教授
白木 公康	富山大学大学院医学薬学研究部 ウイルス学教室 教授
西山 幸廣	名古屋大学大学院医学系研究科 ウイルス学 教授
比嘉 和夫	福岡大学医学部 麻酔科学 教授
本田 まりこ	東京慈恵会医科大学附属青戸病院 皮膚科 教授
三嶋 廣繁	愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学 教授
村上 信五	名古屋市立大学大学院 耳鼻神経感覚医学 教授
森島 恒雄	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児医科学 教授
安川 正貴	愛媛大学大学院医学系研究科 生体統御内科学分野 教授
安元 慎一郎	久留米大学医学部 皮膚科学教室 准教授

(五十音順)

## ●発表

2010年8月下旬 第17回「ヘルペス感染症フォーラム」(JHIF)年次総会にて発表。

## ●研究報告

- ① 受賞者は留学後12カ月経過時点で、中間報告を英文でA4版(ダブルスペース打ち)5枚程度を事務局に提出すること。
- ② 受賞者は帰国後6カ月以内に留学先での研究成果を英文でA4版(ダブルスペース打ち)10枚程度を事務局に提出すること。
- ③ 本研究に関して発表する場合は「JHIF SCHOLARSHIP AWARDS IN HERPESVIRUS INFECTIONS RESEARCHの助成による」旨の記載とともに、刊行物に掲載した場合はその写しを事務局に提出すること。

# JHIF海外留学助成制度

## ヘルペスウイルス感染症研究助成 応募用紙



A

フリガナ		生年月日	19 年 月 日生	写 真 〈横〉 〈縦〉 3.5cm×4.5cm
氏 名	印	年 齢	歳	
		性 別	男 女	
住 所	〒			
	TEL ( )			
所 属 施 設				
施設名称				
教室又は 部門名称				職位
所在地	〒			TEL ( ) FAX ( )

略 歴				
19	年	月	大学	卒
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		

B

氏名 \_\_\_\_\_

推薦状(教室又は部門責任者)

20 年 月 日

教室/部門名: \_\_\_\_\_ 役職: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ ㊟

留学承諾書(施設責任者)

上記研究者に対する下記条件での留学を許可する。

留学先: \_\_\_\_\_

期間: 20 年 月 ~ 20 年 月

20 年 月 日

施設名: \_\_\_\_\_ 役職: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ ㊟

他の助成機関への申請の有無

1. なし      2. あり ( A. 申請済み      B. 申請予定)

助成機関名: \_\_\_\_\_

(2の場合のみ) JHIF海外留学助成制度の受賞者に選ばれた場合は、優先してJHIF海外留学助成制度を利用いたします。

署名: \_\_\_\_\_ 印

C

氏名 \_\_\_\_\_

最近5年間の業績目録

Blank area for recording achievements over the last 5 years.

業績内容 (2,000字以内)

Blank area for writing the performance content.



業績内容 (2,000字以内)

Blank area for writing the performance content (業績内容).

E

氏名 \_\_\_\_\_

留 学 施 設			
施設名称			
所在地	TEL (       )                      FAX (       )		
教室又は 部門名			
受け入れ 責任者名		役職	
留 学 を 希 望 す る 理 由			

F

氏名 \_\_\_\_\_

留学先での研究テーマ

留学先での研究概要 (1,000字以内)